

フロもうなる歌唱力の面々!!?

稲門カラオケ「燦燦会」誕生

吉松淑春（昭和 39 年 商）

写真 古田公昭（昭和 33 年 政経）



昨年 1 月、我が稲門会にカラオケ会をつくろうと 5 人の有志(古田、角、塩谷、畑中、吉松)が集まって八千代台 BanBan で旗上げを行い丁度 1 年が経過いたしました。そして今や 13～15 人のレギュラ

ー参加者がいるという賑やかな会に成長しております。

「歌う」という言葉は「訴える＝訴う」が変化したものと、ある作曲家が言っておりましたが、歌で自分なりの心の何かを訴えるぞという気持ちで歌えとの主張でした。また故人となった平尾昌晃さんも「口喉で歌うんじゃない、気持、心で歌え」と強調して、下手な我々に勇気を与えてくれました。

我々のカラオケ会には大木さんがいてくれて誰も私語することなく聴き入っています。他の会員が歌う際には多少の私語がはいますが、これも「何かを訴えている」と分かれば皆黙々と聴き入る時が来るものと思っています。

八千代台 BanBan からスタートした稲門カラオケ会は、現在勝田台 BanBan に移行し、毎月第 4 水曜日、午後 1 時開始に固定しておりますが、1 人 4 曲歌うことを目標にしています。これもあくまでその人の体力？に合わせてもらえばいいのであって人が歌っている間は水割りでもひっかけて小休止してもらえば元気も回復します。鈴木先輩は 91 歳ですが 4 曲歌い通されます。その意味では堀越先輩の御参加を是非にと心待ちしている次第です。問題は女性会員がいまのところ石原夫人しかノミネートされてなく、夫人もそのせいか参加を多少躊躇されるのが淋しい限りです。先の 2 月の例会には私の知人の女性リンユミさんに来てもらいましたが、まるで躊躇することなく、またの参加を喜んで約束してくれました。





新しい会旗とともに 前列:左から山本、奥山、角、塩谷、藤野、
中列:町田、吉松、リン、鈴木、大島、村岡、 後列:畑中、大木、
円内:石原、の皆さん(敬称略) (当日欠席の皆さん、悪しからず)

現在、21人の
方が互いの推薦で
ノミネートされて
いますが、石橋、宗
方さんは仕事の関
係でリタイア待ち、
藤野さんは船橋か
ら駆けつけ、堤さ
ん町田さんは銘酒
などを持って駆け
つけてくれており
ます

あのレストラン
系のシダックスは
酒やつまみの持ち

込みを禁止して行き詰まり、勝田台 BanBan は比較的柔らかで宴会ムードが楽しめます。勿論カラオケを歌う為の集まりですから、そこは節度を持って運んでいます。

昨年末は稲門会の渡邊会長、山本幹事長も参加してくれましたので、一応部活動として容認されたかなと思っておりますが、吉田、伊東さんは多忙のためちょっと回数は少ないもののそれはそれで何かを訴えたい時に参加してもらえるものと思っております。

特記事項として、先月の会に於いては、我が稲門会の新しい会旗がご披露され、又カラオケ会も「燦燦会」と命名されたことを御報告致します。

そして最後に、大島さんのシャンソン、村岡さんのポップスを是非聴きにきて頂ければと思います。参加費は1,000円ですみますから。

